

# 地震学 & 減災学講座 第15回

# あぶやま・まんてん地球子屋

会場: 京都大学阿武山観測所

定員: 30名(申込先着順)

参加費: 無料

2018年

3月31日(土)

14:00-17:00



阿武山観測所では2ヶ月に1度、一般市民向けの講座シリーズを開催しています。各回さまざまな分野から講師を招き、最新の地震学とその周辺の多様な分野、また防災・減災に関する分野から話題を提供し、学びを共有します。

テーマ:

## 三島地域の古墳

～古墳は私たちの身近な史跡～

ゲスト講師: **竹原 千佳 さん**

神戸女子大学文学部史学科非常勤講師  
茨木市立文化財資料館文化財調査担当員

お申込み  
方法

ホームページの申込みフォームからお申込みください。先着順

(定員に達した時点で受付を〆切ります)

※詳細はホームページをご覧ください。詳しいご案内は申込みいただいた方にお伝えします。

<http://www.abuyama.com>

実施: 京都大学防災研究所 地震予知研究センター & 巨大災害研究センター  
阿武山サイエンスミュージアムプロジェクト

所在地: 〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原944  
ウェブサイトであらかじめアクセスをご確認ください。



# program

第15回テーマ：

## 三島地域の古墳

～古墳は私たちの身近な史跡～



ゲスト講師： 竹原 千佳誉 さん

神戸女子大学文学部史学科非常勤講師  
茨木市立文化財資料館文化財調査担当員

プロフィール：

1982年 高槻市生まれ  
神戸女子大学大学院文学研究科  
日本史学専攻博士後期課程在学 修士（文学）

専門分野：

日本考古学、古墳時代、埴輪

古墳は3世紀中ごろから7世紀初め頃の約350年間北海道、沖縄を除く日本列島において約5200基が築造されました。

近年は、大阪の百舌・古市古墳群が世界文化遺産登録を目指した活動で注目され、これまでとは少し違った形で古墳ブームも起き、古墳は私たちの身近な史跡となっています。

本講座では大阪の百舌・古市古墳群とも関係の深いといわれる三島古墳群にスポットをあてます。古墳の墳形や中の構造、外面を飾る埴輪など古墳入門のお話をし、さらに三島地域の古墳について紹介をおこないます。

古墳について広く知っていただき、博物館等に足を運んでいただくきっかけになれば幸いです。



### 阿武山観測所のサポーター制度について

観測所では、サイエンスミュージアムプロジェクトを皆様方と一緒に推進し活動する「阿武山サポーター」(ボランティア)を募集しています。

ご関心のある方はお気軽にスタッフまでお問合せください。

Abuyama  
Observatory

